

小学生の保護者の皆様へ

家庭学習推進の手引き

1 学習習慣の確立

家庭学習推進の3つの視点

2 生活習慣・規範意識
を身に付ける

3 読書の推進

家庭学習の推進で



2019年4月

町田市教育委員会

はじめに

子どもと一緒に過ごす時間を大切にして、今できていることを認め、ほめましょう。そして、子どもの話を聞いてあげましょう。

自分から進んで学ぼうとする意欲を高めるためには、子ども自身が認められる喜びを実感することが大切です。認められる喜びを味わっている子どもは、自分に自信をもつことができます。子どもが自分の考えを話せたとき、約束を守ったときには、ほめてください。家族からのほめ言葉が、一番の意欲付けになります。



保護者の働きかけがある子どもの学力は、高いという傾向があります。以下の内容を参考に家庭や地域で、子どもたちの生きる力を育む取組を考えるために、ご活用ください。

- 学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が多い。
- テレビ・ビデオ・DVDを見る時間などのルールを決めている。
- テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム等を含む）をする時間を限定している。
- 子どもに本や新聞を読むようにすすめている。
- 子どもに最後までやり抜くことの大切さを伝えている。
- 自分の考えをしっかり伝えられるようになることを重視している。
- 地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることを重視している。

参考：「平成 29 年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」
(国立大学法人お茶の水女子大学)

学校と家庭で連携した取組

学習習慣の確立

「学校と協力して、宿題や予習・復習にすすんで取り組みましょう。」

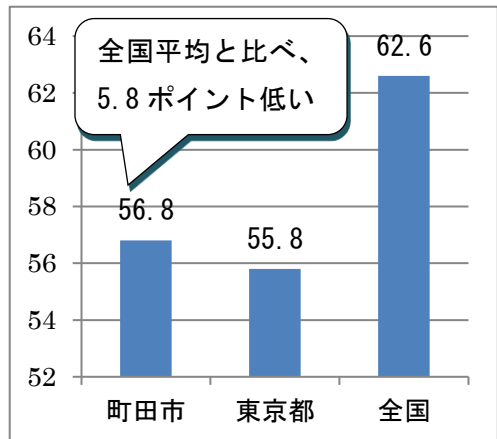
家庭での学習習慣の確立は、学力の向上には有効です。学校の授業と家庭での宿題や予習・復習の取組が効果的に結びつくことで、学習内容が一層定着します。家庭学習の習慣を身に付けるためには、子ども自身の努力はもちろん、学校と家庭が互いの役割を理解し合うことが大切です。与えられた課題をこなす学習から、子どもが自分で目標を決めて取り組む学習へと発展できるよう、学校と家庭で力を合わせて、子どもが自分から取り組み、続けて取り組む学習習慣の確立を目指します。

- 学校では、東京ベーシック・ドリル等を活用します。
- 家庭では、自分の興味・関心のある課題を調べてノートにまとめるなど、調べ学習に取り組みましょう。

例：環境副読本の活用。

オリンピック・パラリンピック読本の活用。

家で、学校の授業の予習・復習をしていますか（肯定的な解答の割合 %）



平成30年度全国学力・学習状況調査結果
(小学校)より

生活習慣・規範意識を身に付ける

「テレビを見る時間、ゲームで遊ぶ時間、携帯電話を使う時間を決めましょう。」

規則正しい生活習慣や規範意識を身に付けることは、学習活動を支える基盤をつくることにもつながります。計画的な時間の使い方を身に付けることや集団社会の一員として、よりよい人間関係を築こうとする態度を育て、規範意識を高めるようにします。

- 家庭では、早寝、早起き、朝ご飯を心がけましょう。
- 家庭では、テレビを見る時間、ゲームで遊ぶ時間を決めて守りましょう。
- 学校、家庭では、スマートフォン、あるいは携帯電話を持たせている場合、使う時間や使い方など、SNSルールを作りましょう。
- 学校では、様々な活動において子どもが役割や責任を果たしていく場を多く設定し、自分の力を発揮して活躍できるようにしていきます。

例：テレビ・ゲームは1日〇時間と使用時間を決める。
携帯電話やスマートフォンなどは、1日の利用時間と終了時刻を決める。



読書の推進

「本に親しみ、読書が好きになるようにしましょう。」

読書は使える言葉を増やし、言語の感覚を豊かにして考える力を育てます。家庭でも、学校との連携や町田市立図書館の利用を通して、本に親しみ、読書が身近になるようにして、読書習慣が身に付くようにします。

○学校では、読書週間、本の読み聞かせ、朝読書の時間など本に親しむ時間の設定をします。

○家庭では、親子で本の読み聞かせをしたり、一緒に本を読む時間や場を設定したりするなど、読書が身近に感じるようにしましょう。

例：親子で20分間読書する。

休日に一緒に図書館に出かける。

これはどう
ということな
の？

一緒に図書館
行って調べてみ
ようか。



町田市の学力向上の取組

子どもたち一人一人が安心して学校に通い、粘り強く学習に取り組むことができるように、一人一人の学習状況に応じて、認めたり励ましたりしながら学習を支援していきます。

えいごのまちだ推進事業



小学校では、リズムに合わせた発音練習（チャンツ）や、英語の歌、音声ペンや絵本等を活用した授業を行います。

中学校では、GTECによる4技能の効果測定を行い、指導に生かしていきます。

ICTを活用した教育の推進



授業では、大型提示装置やChromebookなどのICT機器を効果的に活用します。

教員間で、ICT機器を活用した優良事例を共有できる仕組みづくりや研修等を行います。

放課後学習の充実



放課後における学習活動支援を充実させ、地域の実情・支援に応じた様々な実施方法を検討します。

科学教育の推進



科学センターでは、児童・生徒が直接体験しながら、楽しく観察・実験できるような取組をしています。